

# 会員のひろば

表面処理技術のパイオニア

だいじょうぶ? からだいじょうぶ! へ

## ユケン工業株式会社

代表取締役社長 犬塚 昌夫



### 会社の沿革

昭和12年魚油を使用した綿織物用サイジング油製造業「犬塚工業所」として創業し、昭和26年ユケン化学工業株式会社になりました。家庭用固形石鹼の製造を経て、昭和32年化学品事業部の基礎となる金属表面処理剤の開発・製造・販売を開始しました。昭和42年プラスチックめっきの工業化により、化成系事業部に加え、プラ部品事業部の2事業部制になりました。昭和58年(財)研究開発型企业育成センターから、有機・無機化合物技術を駆使して開発されたニューセラミックスバインダー技術に対して、新規技術の認定を受けました。昭和63年41歳で社長に就任しました。平成元年機能薄膜加工事業を発足しました。平成3年には、設備管理の近代化と製品の品質向上・コストダウンならびに故障の低減などが評価され、PM 優秀事業場賞を受賞しました。平成4年

にはフロン、エタン代替洗浄剤を発売しました。平成13年にはISO14001の認証を取得しました。平成14年には長年の業績と安定した経営、将来性、独創性ある技術力の他、環境問題に取り組む姿勢が評価されて、第36回(財)中小企業研究センター賞を受賞しました。今年3月には容易には模倣できない独自の技術から生まれたシェアNo.1のめっき関連薬品が、世界に通用するものづくりとして、モノづくりブランドNAGOYAを受賞しています。

### 表面処理剤

各種産業(自動車、電機、電子部品、鉄鋼、精密機械等)で使用される工業用洗浄剤・めっき光沢剤とその助剤の販売や洗浄装置・排水処理方法などの技術指導を含めたトータルシステムとして、研究開発・製造・販売・アフターサービスを国内外を含めて一貫して行っています。なかでもめっき前処理洗浄剤は全国トップシェアを占め業界をリードしています。環境保全に配慮した安全な表面処理剤であることは、今や当然のことと考えています。豊富なノウハウを活かし、自然界で生分解性に優れているものの他に、リサイクル可能な処理剤や新たな表面処理剤づくりを積極的に行っています。

更にお客様に満足していただくために、お客様と共に考え、より

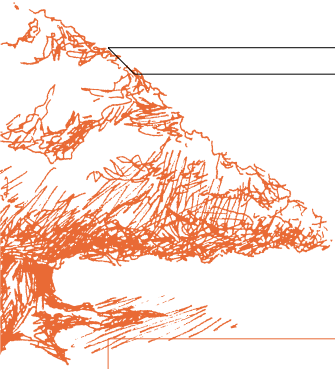
環境問題に対応し、より人々に安全で、より確かな品質の表面処理剤・方法・システムを研究部門と一体となり提案・提供しています。

### 洗浄剤・水処理剤

各種産業分野(製鉄、電力、原子力発電、石油関連等)の難しい汚れに対して、ユケンの表面処理技術とバイオテクノロジーを駆使して、地球環境の保全、作業安全性の高い洗浄剤の開発・製造・販売を行っています。例えば大きなプラントの洗浄分野は大手と競合しない小回りの利く分野といえます。プラントに繋がる小さなパイプとか、未だに人海戦術で洗浄している、手間の掛かるところに照準を合わせています。自動車メーカーの塗装ラインの洗浄には、洗浄剤の界面活性剤で培ったバイオ技術で難分解性の有機物を分解し、廃棄物量を減らすことに成功しました。この技術は今後ほかの分野からのニーズが期待できるものと考えています。

### イオンプレーティング加工

これまでに蓄積した真空技術に加え、表面処理加工のノウハウにより、新たな機能(耐久性、耐滑り性、耐摩耗性等)を付加するイオンプレーティング加工で金型業界へ貢献しています。当初真空技術によるプラスチックへのめっき事業を行っていましたが、価格競争に巻き込まれました。そこで付加価値がアピールできる分野はないかと、方向転換したのが、金型、治工具分野です。コーティングにより今まで2年しか保たなかった金型が5年保つようになり、



イオンプレーティング加工品

ユーザーにイオンプレーティング加工の価値を理解していただきました。価格競争ではなく、技術を評価していただける分野へ絞りこんだのです。

#### 研究開発

独創性の高い商品こそがユケンの経営の基盤であり、リーディングカンパニーとして市場に認められる条件と考え、創業以来一貫して表面処理に特化した研究開発に力を注いでいます。研究開発には売上の1割以上を投入しています。また研究職は社員の2割を占めています。いまユケンの関心は培ったノウハウと最先端の科学技術により、未だ限界の見えない表面処理による機能の広がりと可能性を、地球環境保全の視点で追求し、切り開いていくことにあります。機能性表面処理技術などの研究・開発には、確かな材料分析、物性研究が重要になります。そのため最先端の各種分析技術を積極的に導

入し、研究・開発を促進しています。またお客様の生産ラインにおいて実際にお使いいただく状況を再現し、機能・性能・品質・加工技術等確かめるための実験プラントもご用意し、ご要望に応え経営理念である「顧客第一主義」を実践しています。

#### 全社的品質保証

問題点・課題に自ら気づき、創造的、科学的に問題、課題解決に挑戦し、その成果として独創的で、高品質な製品、システムを造り出し、お客様に満足いただける活動の全ては社員の活動の質によってなされるものと考えています。疑問を持って問い掛けられた「だいじょうぶ？」が確信を持って「だいじょうぶ！」と答えられるように努力して参ります。

ユケンは社員一人ひとりが健康で、夢と希望と目標を持って仕事に臨み、お客様に信頼していただき、成長していくことが全社的品

質保証と考えています。表面処理技術の総合メーカーとして、信頼される体制を強化し、さらに成長していきたいと願っています。

#### ユケンの将来

これからの課題として海外との提携による技術開発があります。急速なグローバル化に対応して、精力的にネットワークづくりを進めており、お互いの新商品のやりとりにもまで発展しているものもあります。国内または国際的な産学官共同研究にも期待しています。そうした技術開発の中でも、環境が大きなキーワードと考えています。六価クロムを使用しないで耐腐食性を保たせる技術がクローズアップされており、近々商品化する予定です。

今年の中長期5ヵ年計画の3年目に入ります。多少の景気変動があっても足腰の強い会社になることを目指し、その中で生きるべき業界・分野を絞り込んで、その中でピカッと光る企業を夢見ています。そのために環境と機能というテーマを掲げて新製品を従来品と置き換えていきたいと考えています。付加価値のある商品こそがユケンの目指しているところです。

次世代へのバトンタッチとしては、40代の二人を役員に登用し極力タガをはめなくて、自由にやらせています。失敗も重要な経験と考えています。また30代前半の7人を外部機関で2年間みっちり教育させ、今は現場で新しいテーマを探し、改善するという課題に取り組みせています。ユケンの将来はそうした若い人の双肩にかかっているとと言えます。